

Title	"ゆでガエルに外から刺激を与えて元気にさせる"
Sub Title	
Author	高橋, 美寿(Takahashi, Yoshihisa) 高木, 晴夫(Takagi, Haruo)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2012
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2012年度経営学 第2768号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002012-2768

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程

学位論文 (2012 年度)

論文題名

題名: “ゆでガエルに外から刺激を与えて元気にさせる”

指導教員	高木 晴夫 教授
副指導教員	岡田 正大 准教授
副指導教員	小幡 績 准教授

2013 年 1 月 7 日 提出

学籍番号	81130608	氏名	高橋 美寿
------	----------	----	-------

論文要旨

所属ゼミ	高木晴夫 研究会	学籍番号	81130608	氏名	高橋美寿
(論文題名)					
“ゆでガエルに外から刺激を与えて元気にさせる”					
(内容の要旨)					
<p>戦後、日本は高い技術力と安定した生産力で高度経済成長期を過ごし、めざましい発展をとげてきた。白黒テレビがカラーになり、高い技術力が海外で認められ、世界中に日本車が輸出をされ、日本の成長に大きな影響を与えてきた。企業は新製品を開発、世の中に送り出すことで私たちの生活を豊かにし、企業自身も右肩上がりの成長をし続けてきた時代である。しかし近年になってからは、BRICSやASEANといった、従来であれば競争相手として存在感がなかった国々の企業が躍進、グローバルにおいて大きな存在感を見せている。こうした中、21世紀の前後には、優良企業とされてきた企業が数多く破たんをしている。なぜ日本企業の競争力は失われてしまったのだろうか。経営者は経営判断を間違っていたのか。それとも、分かっているながら何かにしばられ、誤った選択をし続けてしまったのだろうか。</p> <p>私はこうした問題意識から、企業が悪化する要因を探りたいと考える。中でも、経営が悪化している企業や経営者を指して「ゆでガエル」と表現されることがある。どうすればゆでである(経営が危機的に悪化する)前に、カエルが熱さ(外部環境に適應していないこと)に気付くことができるのか。私は、経営においてゆでガエルとはどのような状態を示すのか、および、ゆでガエルの企業はどのような問題が要因になっているのか。以上についての研究をおこなった。</p> <p>本論文は、私の職務経験、過去の企業事例、先行研究から、ゆでガエルという用語の使い方を定義。仮説を提示する。そして経営者へのインタビュー、インターネットアンケートをすることで、検証、考察と提言をした。</p>					